

第4次里庄町振興計画

SATOSHITOWN MASTER PLAN

概要版

子どもの元気な声が響き
みんなの笑顔があふれる
まちをめざして



里庄町振興計画って？

- 里庄町振興計画は、町の将来像やこれからのまちづくりの方針を示したものです。
- 本計画では、人口減少や経済成長の停滞、大規模な災害など、これから多様化・複雑化していく地域課題に対応したまちづくりを行っていくために、7つの基本目標を掲げ、実現に向けて様々な施策を展開していきます。
- 今世界ではSDGsの取組が求められており、国内でもSDGsの考え方を取り入れたまちづくりが進められています。持続可能な社会の実現を目指し、本計画でもSDGsを踏まえて計画を策定しました。

ポイント

SDGsとは

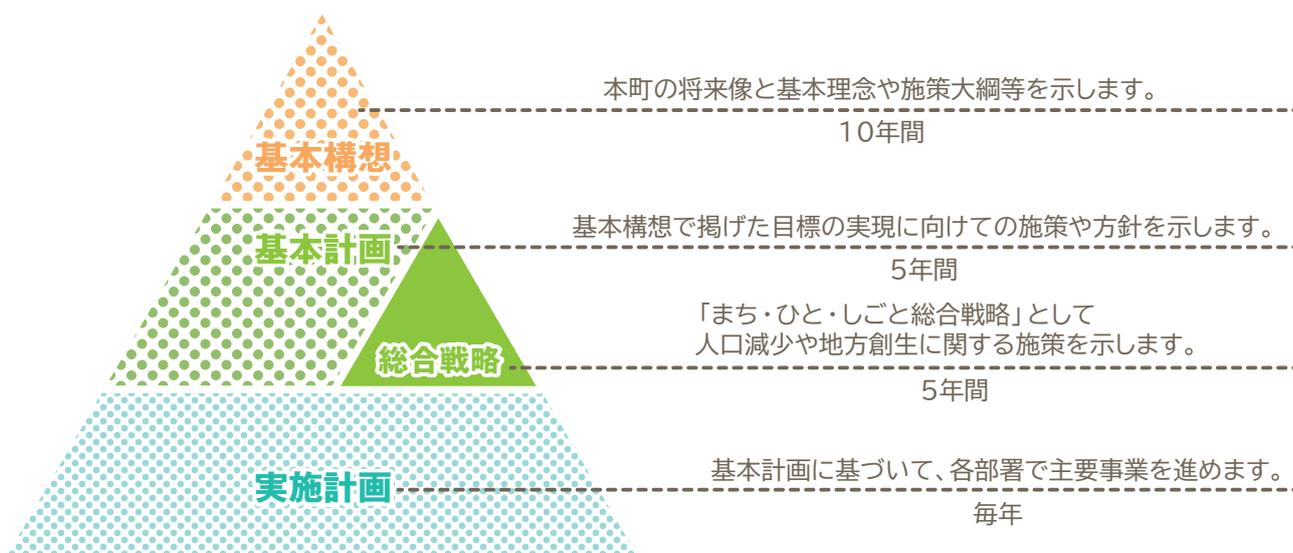
2015年に国連総会で採択された、持続可能な社会をつくるための17の目標のことを「持続可能な開発目標（SDGs）」といいます。

計画の構成と期間

振興計画は、「基本構想」「基本計画」「総合戦略」「実施計画」で構成されます。

基本構想は、令和2年度（2020年度）を初年度とし、令和11年度（2029年度）を目標年度とする10年間の長期構想です。

基本計画は、前期基本計画が令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5年間、後期基本計画が令和7年度（2025年度）から令和11年度までの5年間です。



里庄町のいま

本町の人口は微増傾向で推移しており、平成2年(1990年)に1万人を超え、人口減少問題が叫ばれる近年においても11,000人を維持しています。これは、企業立地等の推進により税収と雇用を確保し、地域資源や教育、子育て環境の整備に取り組んできたことにより、若者世代の流入が進んだことに起因するものと考えられます。

一方で、少子高齢化の進行による自然減は続いており、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年(2018年)3月推計では、里庄町の人口は令和27年(2045年)には9,942人と1万人を割り込むものと推計されています。

人口の減少は、まち全体の活力の低下にもつながり、
まちの活力の低下が人口減少を加速させる
悪循環に陥るおそれがあります。



①まちの魅力を高め永住の地として選ばれるまちへ

少子高齢化や人口減少などの課題に対応し、人口を維持・確保していくためには子どもから高齢者まで誰もが安心して自分らしい暮らしを続けることができる定住条件を確保していく必要があります。

②行政資源の選択と集中による新たなまちづくりへの挑戦

税収減や社会保障費の増大などにより、今後の財政は不確実性を増していくと予測されています。限られた財源の中で費用対効果の高いまちづくりが実施できるよう、行政資源の選択と集中を行いながら戦略的な行財政運営を推進する必要があります。



政策課題

本計画の実施にあたり、前期基本計画期間(令和2年度～令和6年度)で取り組むべき重点的な政策課題と方向性を設定します。

これらの課題の解決に向けては、行政だけではなく、町民、企業等が協働で取り組むことを目指します。

1. シビックプライドのまちづくり

- すべての町民が「里庄町が好き」と言えるような、ふるさと教育と暮らしの満足度が高いまちづくりを目指します。
- 郷土愛と活動意欲を高めるため、地域協働での交流事業、地域サロン等の集いの場を積極的に形成するとともに、改めて「里庄町に住んで良かった」と感じてもらえるまちをつくりま



2. 定住したくなるまちづくり

- 本町が持続可能な発展が図れるよう、交通の利便性を高めるとともに、誰もが安心して住みやすい安全な生活環境を整えていきます。
- 本町で様々な仕事ができる、また本町から仕事に通える環境をつくることにより、岡山県南西部の生活拠点都市としての位置づけを明確にします。



3. 子どもの笑顔があふれるまちづくり

- 子どもたちがのびのびと育つことができる子育て支援、教育の環境を整えることで、子どもの笑顔があふれるまちづくりを進めます。
- 子どもを生み育てやすい社会の実現に向け、家庭・地域・行政が連携して地域の子育て力を高めるとともに、子育てと仕事が両立できる環境づくりを進めます。
- 子どもたちに「豊かな心」・「確かな学力」・「健やかな体」を育み、生きる力を培うとともに、グローバル時代に対応して世界で活躍する人材を育成します。

4. 高齢者がいきいきと活躍するまちづくり

- 高齢者が住み慣れた地域で健康で心豊かに暮らせるよう、高齢者が培ってきた知識や経験を活かせる社会参加の機会をつくりま



里庄町のこれから

町の将来像

子どもたちが健やかに生まれ育ち、町民すべてが元気で心豊かに暮らせるまちから、みんなの笑顔が生まれます。子どもたちが進学等で一時期、まちを離れても、将来、また住みたいと思える魅力あるまち、高齢になっても安心して生活できるまちでありたいと考えます。

このために、町民一人ひとりが里庄町のイメージを形づくる主体として、いきいきと活動し、ともにまちづくりを行うべく、次の将来像を目指すものとします。

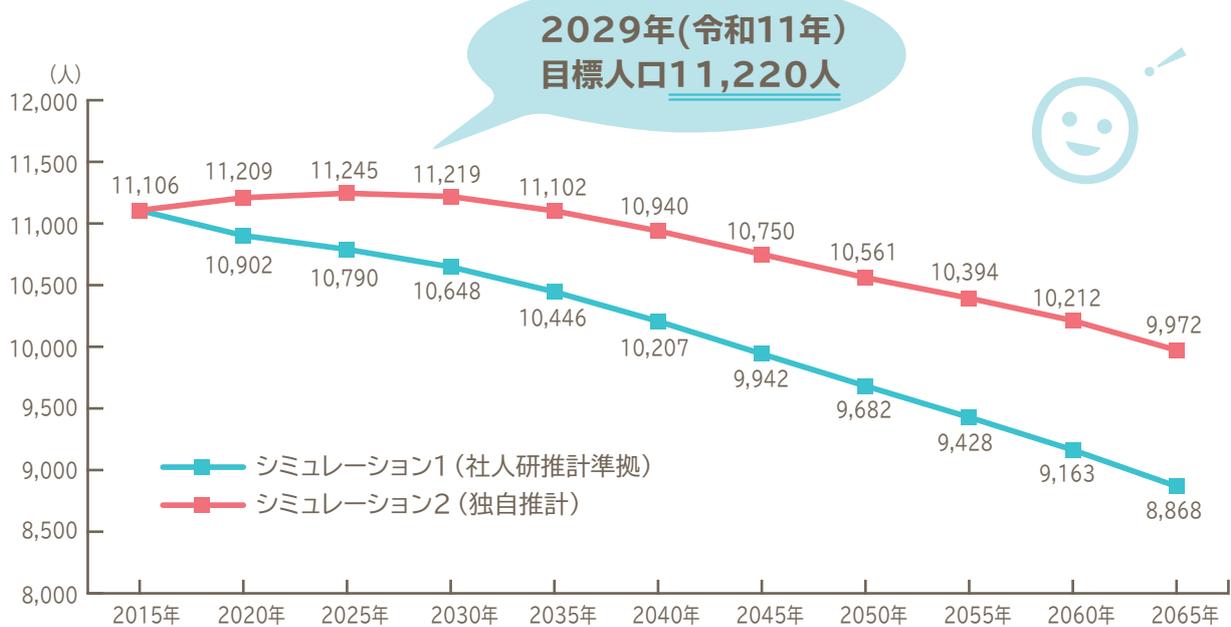


子どもの元気な声が響き
みんなの笑顔が
あふれるまち

将来人口の見通し

本町では、人口減少に歯止めをかけ、町の活力を維持するため、2065年（令和47年）における目標人口を9,972人とし、約1万人を確保する目標を掲げています。

計画の目標年次である2029年（令和11年）における将来人口は里庄町人口ビジョンを踏まえ、11,220人を目指します。



里庄町未来創造ビジョン（総合戦略）

わが国の総人口は減少傾向であり、合計特殊出生率がこのまま推移すると2060年には1億人を下回ると推計されています。

人口減少社会の到来自体は不可避とみられているなかで、本町においても将来的な人口の減少に対応していかなければなりません。

本町では、花や緑に彩られた豊かな自然に包まれ、交通の利便性が高いという地域特性を活かし、若い世代が安心して働き、子育てができる環境の形成を目指します。そして、町民と協働し、住みたいまち、住み続けたいまちの実現を図ります。

重点施策1 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

子ども・子育て支援事業と連携し、男女の出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまでを総合的に支援できる体制を構築します。

また、男女がともに輝き、希望をかなえながら、十分な愛情を持って子育てができるまちづくりを進めます。



重点施策2 魅力あるまちをつくり、人口流入を促進する

住宅地の開発や居住環境の改善に努めていくとともに、災害が少ない、交通利便性の良さ、岡山・倉敷都市圏や福山都市圏に近接した立地環境、子育て環境や教育環境の良さ、通信・情報ネットワーク等の生活・社会インフラの充実等、総合的な住みやすさを活用し、魅力あるまちづくりを推進します。



重点施策3 地域の経済を振興し、安心して働けるようにする

地域経済の付加価値や生産性を継続的に向上させていくには、地域イノベーション等を通じた新産業の創出や既存産業の高付加価値化に対応できる有能な人材の確保が必要になります。地域経済を支える若者の地元への就職や定着を促進するとともに、元気な高齢者や子育て期の女性等、潜在的な労働力人口の就労を促進します。



重点施策4 地域住民が活躍し、豊かな暮らしを実現するとともに、時代に合った地域社会を育む

一人ひとりが生きがいを感じながら暮らすことができる地域社会の実現をめざします。すべての町民が地域の暮らしを自分たちの手で良くしていこうとする、シビックプライドの取組を進め、様々な人々と交流しながらつながりを持って支え合うコミュニティの形成を図ります。

地域をまとめ率先して引っ張っていくリーダーを養成し、「地域経営」の視点を持って活躍できる人材を育成します。



施策体系

子どもの元気な声が響き みんなの笑顔があふれるまち

基本目標

1

**元気でいきいきと
暮らせるまち**

【保健・医療・福祉】

- 施策1-1 地域福祉の推進【重点】
- 施策1-2 子育て支援の充実【重点】
- 施策1-3 高齢者福祉の充実【重点】
- 施策1-4 障がい者福祉の充実【重点】
- 施策1-5 人権尊重のまちづくり
- 施策1-6 医療体制の充実
- 施策1-7 健康づくりの推進
- 施策1-8 社会保障の充実



基本目標

2

**希望を持ち、
豊かな心を育むまち**

【教育・文化・スポーツ】

- 施策2-1 学校教育の充実【重点】
- 施策2-2 生涯学習の振興
- 施策2-3 芸術・文化の振興・歴史の保存
- 施策2-4 生涯スポーツの振興
- 施策2-5 交流活動の推進

基本目標

3

**快適で
安全・安心なまち**

【生活環境】

- 施策3-1 快適な住宅地整備の推進
- 施策3-2 生活環境の充実【重点】
- 施策3-3 防災・減災対策の推進【重点】
- 施策3-4 防犯・交通安全対策等の充実【重点】
- 施策3-5 消費者教育の推進

基本目標

4

**自然と共生する
美しいまち**

【環境保全】

- 施策4-1 自然環境保全の推進
- 施策4-2 循環型社会の形成
- 施策4-3 緑豊かなまちづくりの推進【重点】
- 施策4-4 治山・治水の推進

基本目標

5

人が集い交流するまち

【都市基盤】

- 施策5-1 計画的な土地利用の推進
- 施策5-2 道路体系の整備
- 施策5-3 公共交通機関の利用促進【重点】



基本目標

6

**活力と魅力あふれる
元気なまち**

【産業】

- 施策6-1 農業の振興【重点】
- 施策6-2 商工業の振興【重点】
- 施策6-3 雇用環境の充実
- 施策6-4 観光振興・地域ブランドの充実【重点】

基本目標

7

**町民とともに創る
持続可能なまち**

【町民参加・行財政】

- 施策7-1 協働のまちづくりの推進【重点】
- 施策7-2 情報バリアフリーの推進
- 施策7-3 地域に開かれた行政運営
- 施策7-4 分館活動の充実【重点】
- 施策7-5 計画的・効率的な行財政運営の推進
- 施策7-6 スマート自治体への体制整備【重点】
- 施策7-7 広域行政の推進

施策の大綱

基本目標 1

【保健・医療・福祉】

元気でいきいきと暮らせるまち

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



年齢・障がいの有無・文化・信条・国籍等にかかわらず、すべての町民が住み慣れた地域で、相互に助け合い、支え合いながらいきいきと自分らしい暮らしを続けることができるまちづくりを目指します。

そのため、保健・医療・福祉サービスの充実をはじめ、子育て環境の充実、町民参加による健康づくりの推進、地域医療体制の充実、助け合い、支え合いの地域づくり等、町民の健やかな暮らしを支える環境づくりを進めます。

施策

1. 地域福祉の推進
2. 子育て支援の充実
3. 高齢者福祉の充実
4. 障がい者福祉の充実

5. 人権尊重のまちづくり
6. 医療体制の充実
7. 健康づくりの推進
8. 社会保障の充実



基本目標 2

【教育・文化・スポーツ】

希望を持ち、豊かな心を育むまち

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



次代を担う子どもたちが、心豊かで主体的・創造的に生きていくための資質や能力を伸ばし、国内はもとより世界でも活躍できるような社会人となるよう、学校・家庭・地域等の社会全体が一体となり、子どもたちの育成を支援していきます。

また、町民全体においても、生涯学習や芸術・文化活動、スポーツ活動へ参加する機会を充実することで、個人の課題解決や自己実現を図り、社会参加を通じてその成果を還元することができるまちづくりを目指します。

施策

1. 学校教育の充実
2. 生涯学習の振興
3. 芸術・文化の振興・歴史の保存

4. 生涯スポーツの振興
5. 交流活動の推進



基本目標
3

【生活環境】
快適で安全・安心なまち



すべての町民が「住んで良かった」と思い、町外の人からも「住んでみたい」と実感してもらえるよう、快適な住宅地、公共下水道の整備、ごみ処理施設の整備、公共施設等のバリアフリー化等を行い、安心して住み続けられる定住環境の形成を図ります。

また、災害、事故、犯罪等から町民の生命や財産を守るため、迅速かつ的確な対応が可能な防災対策や防犯・交通安全対策を行うとともに、行政・学校・地域・企業等が協力、連携した安全・安心なまちづくりを進めます。

施策

- 1. 快適な住宅地整備の推進
- 2. 生活環境の充実
- 3. 防災・減災対策の推進
- 4. 防犯・交通安全対策等の充実
- 5. 消費者教育の推進



基本目標
4

【環境保全】
**自然と共生する
美しいまち**



地球規模での環境問題に関心が高まる中、地球温暖化の防止に向けて、限りある資源を活かし、自然と共生したまちづくりが求められます。

そのため、町民・企業・行政が一体となっごみの減量化、資源のリサイクル等に積極的に取り組めるよう意識啓発を進めるとともに、環境の汚染防止と保全に向けた施策を推進し、持続可能な社会を形成することで、緑豊かな郷土を次代に継承していくまちづくりを目指します。

施策

- 1. 自然環境保全の推進
- 2. 循環型社会の形成
- 3. 緑豊かなまちづくりの推進
- 4. 治山・治水の推進



基本目標
5

【都市基盤】

人が集い交流するまち

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



本町は、都市圏の中間地点という地理的優位性から、住宅地開発と企業立地が進んだ結果、まちが発展してきました。今後も快適な生活空間と活力ある産業を持続させていくうえで、ひと・もの・情報をつなぎ、その交流を支える都市基盤の整備を進めていくことが重要です。

そのため、計画的な土地利用による道路網等の交通基盤の整備、公共交通による公益施設の利便性の向上、にぎわいと交流を促す快適なまちづくりを目指します。

施
策

1. 計画的な土地利用の推進
2. 道路体系の整備
3. 公共交通機関の利用促進



基本目標
6

【産業】

活力と魅力あふれる 元気なまち

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



町民の豊かな暮らしを確保し、活力とにぎわいを生み出し、持続的な発展を創出していくうえで、産業活動は大きな役割を担っています。

町民の豊かな暮らしを実現するため、企業誘致・事業拡大等による商工業の振興を促すとともに、国道2号や里庄駅等の主要交通道路・機関周辺での商工業の活性化、農業の担い手の確保、地場製品のブランド化等による産業の振興により、活力あるまちづくりを目指します。

施
策

1. 農業の振興
2. 商工業の振興
3. 雇用環境の充実
4. 観光振興・地域ブランドの充実



基本目標
7

【町民参加・行財政】
**町民とともに創る
持続可能なまち**



分館単位の地域づくりを進める本町の特性を活かし、自発的な取組への支援や町政に係る情報発信と参画促進に取り組む等、地域を担う人づくりや地域コミュニティの強化を推進し、町民と行政の協働でシビックプライドによるまちづくりを目指します。

また、本町を取り巻く厳しい財政状況を鑑みながら、効果的で効率的な行財政運営の構築に取り組み、行政サービスの確保と持続可能なまちづくりを目指します。

施策

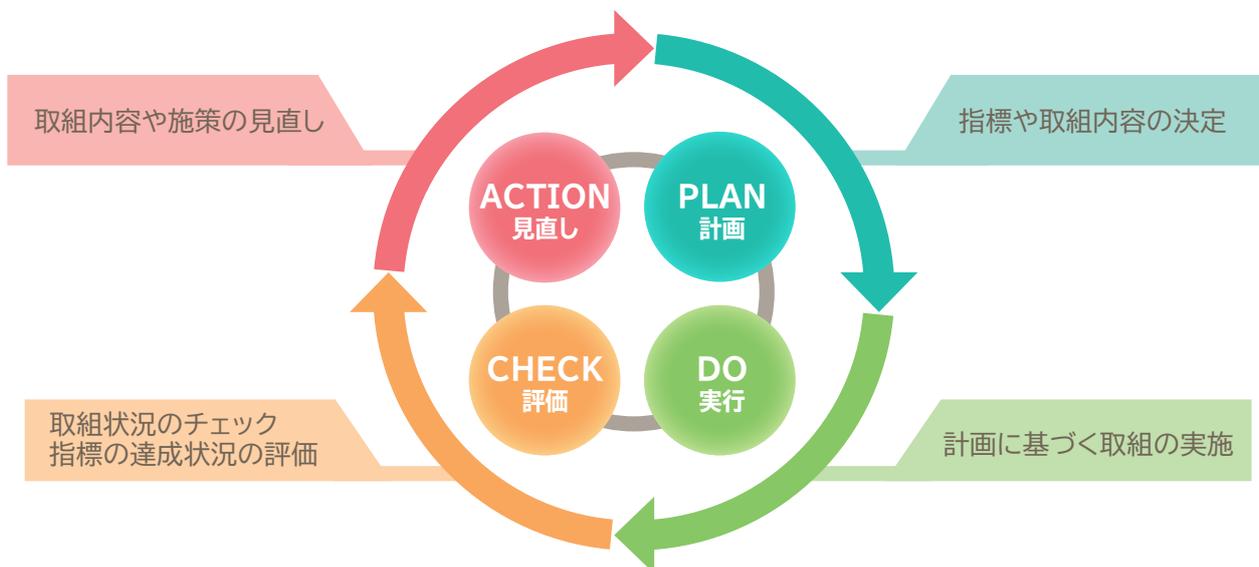
- 1. 協働のまちづくりの推進
- 2. 情報バリアフリーの推進
- 3. 地域に開かれた行政運営
- 4. 分館活動の充実
- 5. 計画的・効率的な行財政運営の推進
- 6. スマート自治体への体制整備
- 7. 広域行政の推進



計画の推進

財政状況を勘案しつつ、少子高齢化・人口減少という課題と向き合いながら、目指すまちづくりの実現に向け、目標の達成や成果の向上を確認できる計画の策定や施策立案を行っていくことが重要です。

そのため、PDCAサイクル（計画・実行・評価・見直しの繰り返し）を活用し、基本目標に対する基本施策の進捗や効果を検証するとともに、変動する社会情勢に即して施策内容を柔軟に見直しながら将来像の実現を目指します。





第4次里庄町振興計画 概要版

～子どもの元気な声が響き みんなの笑顔があふれるまちをめざして～

